



埼玉県立春日部高等学校 春燦々会 Presents

サマーコンサート



2015年

7月26日(日)

13:00 開演 (12:30 開場)

主催：春燦々会

後援：埼玉県立春日部高等学校 / 埼玉県立春日部高等学校同窓会

春日部高校 PTA・後援会 / 東京藝術大学同声会東京支部

協賛：いわもと歯科医院 / (株) インター・アート・コミッティーズ

岩佐税理士事務所 / 弁護士 内田一郎 / 大竹歯科クリニック

岩槻バンビ保育園 / やまぐち内科クリニック / 山田・尾崎法律事務所

協力：春日部高等学校音楽部 / 春日部高等学校メディア技術研究部

埼玉県立春日部高等学校

埼玉県立春日部高等学校音楽ホール

センテニアルホール

ごあいさつ

春燦々会のサマーコンサートによるこそ。

春燦々会とは、昭和 56 年に春日部高校を卒業しました高校 33 回の同期会の名称です。私もすっかり忘れていましたが、第 1 回目の同期会を平成元年 10 月 22 日に開催しました。以来、早いもので 26 年の月日が流れました。

これまで、4 年に一度の同期会総会、新年会・忘年会、ゴルフコンペ等を会員皆さんの協力により開催してきました。

その中でも特筆すべきは、やはり平成 21 年と 25 年に大人の修学旅行と称し、恩師を交えて古の街京都を、大人の時間で、男のプランで、気心知れた仲間たちと、他愛のない会話を楽しみながら歩きました。

今回、さらに進化を遂げた我が春燦々会は、平成 27 年夏の日の午後、ここセンテニアルホールにてコンサートを開く運びとなりました。

私たちの仲間で、作曲家として世界的にもご活躍中の立原 勇くんを中心に、東京藝術大学出身の演奏家の方々、そして杉木名誉教授にも御演奏いただくことになりました。夢のようなプランを誰かが発し、その実現に向けてみんなで頑張っていこうと励まし合いながら、本日無事開催するに到りました。

本日ご出席の皆さま方に、このコンサートに参加できて良かったよと、言っていれば、幸いに存じます。

最後になりますが、ご多忙にもかかわらず、本コンサートの出演を快く引き受けいただいた杉木先生をはじめとした演奏家のみなさんには、感謝の言葉もみつかりません。

そして中原幹事長をはじめ今回の同期会開催にむけて、多数に渡る幹事会に、嫌な顔も見せずに参加頂いた幹事のみなさんに感謝の意を表したいと思います。

「みんな、ありがとう。今宵はみんなで乾杯しよう」



春燦々会 会長
岩本 敏英

春燦々会友情の結晶

いよいよこの日を迎えました。前回同窓会の「立原君のピアノを春高の音楽ホールで聴きたい」という皆の声が、いつのまにかとてつもないスケールの演奏会になっていました。東京藝術大学ご卒業のプロ演奏家の皆様にご出演いただけるという思いがけないお話に歓喜する一方で、音楽の世界には全くの素人達で、当代一流の演奏家を失礼なきようお迎えすることが出来るのか、戸惑いばかりでございました。同窓会、学校へのお願いに始まり、企画・構成、出演者の交渉・調整、「春燦々会の歌」の作詞・作曲、ご案内の作成・配布、ホームページ、パンフレット作成、写真家手配等、手探りを続けながら今日に至りました。ご出演を快諾いただいた杉木先生はじめ演奏家の皆様、本校の先生方、同窓会事務局、音楽部・メディア技術研究部の顧問の先生方、現役部員諸君にはひとかたならぬご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、同級生の皆さんから有形無形のご支援をいただき、開催に至ることが出来ました。すべては我が春燦々会友情の結晶です。本日は母校と仲間達への変わらぬ想いを「春燦々会の歌」として初披露させていただきます。残念ながら参加が叶わぬ同級生も多数おりますが、ご来場の皆様にこの素敵なひとときをお届け出来る喜びを皆で分かち合いたく存じます。

演奏会の実現に向け支えてくださったすべての皆様に改めて心からの感謝を捧げます。特に大切な作曲のお仕事を抱えながら、本演奏会の準備を最優先に取り組んで下さった立原君にはどのような言葉を尽くしても足りません。彼の素晴らしいご縁で本日ご出演いただきました皆様が奏でる「本物」の演奏の数々を、春高が誇るこのホールで心ゆくまでお楽しみください。



春燦々会 幹事長
(春日部高校 PTA 後援会長)
中原 淳一

プログラム

■第1部：コンサート

幻想即興曲 (F. ショパン作曲)

ピアノ：立原 勇

アヴェ・マリア (C. グノー / 立原 勇編曲)

メランジェ合奏団

ミュージカル「マイフェアレディ」より

「踊り明かそう」 (F. ロウ作曲 / 立原 勇編曲)

ソプラノ：廣橋 英枝

テノール：新堂 由暁

メランジェ合奏団

歌劇「椿姫」より「ああ、そはかの人～花から花へ」

(G. ヴェルディ作曲 / 立原 勇編曲)

ソプラノ：廣橋 英枝

メランジェ合奏団

歌劇「愛の妙薬」より「人知れぬ涙」

(G. ドニゼッティ作曲 / 立原 勇編曲)

テノール：新堂 由暁

メランジェ合奏団

流れやまめ川のように (立原 勇作詞 / 作曲)

ソプラノ：廣橋 英枝

テノール：新堂 由暁

メランジェ合奏団

休憩

テ・デウム (神なる汝を我らは讃えん) より「前奏曲」

(M. シャルパンティエ作曲 / 立原 勇編曲)

ピッコロ・トランペット・ソロ：小林 好夫

メランジェ合奏団

アメージング・グレース (賛美歌 / 立原 勇編曲)

トランペット・ソロ：只友 佑季

メランジェ合奏団

チャルダッシュ (V. モンティ / 今込 治編曲)

トロンボーン・ソロ：今込 治

メランジェ合奏団

トランペット吹きの子守歌 (L. アンダーソン / 立原 勇編曲)

トランペット・ソロ：杉木 峯夫

メランジェ合奏団

特別講義トランペットの音の出るしくみ

講師：杉木 峯夫

SERENATA II (立原 勇作曲)

トランペット・ソロ：杉木 峯夫、小林 好夫

ピアノ：立原 勇

休憩

ピアノ協奏曲より (チャイコフスキー作曲 / 立原 勇編曲)

ピアノ・ソロ：立原 勇

メランジェ合奏団

祭りだ！暑い！！熱いぜ！！ (立原 勇作曲)

メランジェ合奏団

■第2部：春燦々会会員出演コンサート with メランジェ合奏団

2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調

(J.S. バッハ作曲 / 立原 勇編曲)

1st ヴァイオリン：子安 出穂

2nd ヴァイオリン：岡崎 太郎

メランジェ合奏団

タイスの瞑想曲 (J. マスネ作曲 / 立原 勇編曲)

ヴァイオリン：岡崎 太郎

ピアノ：立原 勇

フィガロのアリア (G. ロッシーニ作曲 / 立原 勇編曲)

ヴァイオリン：子安 出穂

メランジェ合奏団

SERENATA II (立原 勇作曲)

トランペット・ソロ：坂田 勝巳、杉木 峯夫

ピアノ：立原 勇

休憩

■第3部：春燦々会の歌披露～校歌～エール

春燦々会の歌 (春燦々会作詞 / 立原 勇作曲 世界初演)

全員

曲目未定

春日部高校音楽部 (男声合唱)

埼玉県立春日部高等学校 校歌 (作詞：折原 信一郎 作曲：音楽学校)

全員

エール

岩本 敏英

プログラムノート

皆さん、こんにちは。春燦々会メンバーの立原です。
春高を卒業してからおよそ35年が経ちました。今回、
長い年月を経て、母校で演奏出来る事にとても幸せを感じ
ています。

私は高校を卒業してから社会人を6年間経験した後、
全くの独学で東京藝術大学の作曲科に入学し、卒業後は
作曲家およびピアノ弾きとして活動させていただいてい
ます。作曲やピアノはもちろん、ソルフェージュ（とい
う言葉も知りませんでした）等、とにかく音楽を他人か
ら教わったことが無く、ただ「音楽が好き」という一念
で突っ走ってきましたが、その原動力は春高で過ごした
3年間にあります。

形に全く囚われない自由な校風から、何にでも臆せず
自由にトライする精神を学び、卒業後、実に色々な事に
チャレンジしてきました。・・・3か月間、ホテルに一
泊もせずにヨーロッパをまわったり、ギリシャで急に思
い立って飛行機のチケットを購入し、イスラエルに入国
した日に第2次湾岸戦争がはじまり、戒厳令の空港で恐
怖で死ぬ思いをしたり、テルアビブを訪れた次の日に爆
弾が落ちたり等々、中身の濃い人生を送らせて頂いてい
ますが、全て春高精神で笑い飛ばすことができました。

高校時代、私は吹奏楽部に所属していました（残念な
がら、諸事情で高校2年の時に退部しました）が、この
部も自由で、一般にありがちな「スパルタ式のコンク
ール至上主義」ではなく、心から音楽を楽しんでいました。
私自身も、好き勝手に作曲や編曲で多くの曲を書きまし
たが、定期演奏会をはじめ、ことあるごとに発表させて
いただきました。その経験が今の私の礎となっていると
感謝しています。ただ一点、入学時に「音楽大学に入学
したいので、是非とも音楽のクラスにして下さい」と懇
願したにもかかわらず、美術のクラスになってしまった
のは・・・まあ、今となってはその方が良かったのです
が・・・それも含めて自由な校風なのでしょう。
さて、戯れ言はともかく、今回のプログラムノートです。

■幻想即興曲／F. ショパン作曲

この曲は、私が中学生・高校生の時に良く弾いていた
曲です。高校時代、私の家に遊びに来た同級生に無理矢
理に聴かせていたという曲でも有り（被害者：中村優夫
氏など）、今回のコンサートの1曲目に取り上げました。
曲自体は当時のコマーシャルで流れていたの、ご存じ
の方は多いと思います。・・・個人的な感想として
は「手に乳酸がたまる曲！！」でもあります。

■アヴェ・マリア／グノー作曲・立原勇編曲

次に、藝大卒業生により昨年立ち上げた演奏団体「メ
ランジェ合奏団」の演奏に入ります。

まずは、よく知られている「アヴェ・マリア」から。
ピアノのソロから始まり、奏者が一人一人増えていき、
最後は全員の合奏で終わります。最後に登場するチュー
バは「ド」と「ファ」の2つの音しか吹きませんが（笑）、
とても美しく敬虔な響きをお楽しみ下さい。

■ミュージカル「マイフェアレディ」より「踊り明かそう」

この曲は、説明するまでもなく、誰もが知っている曲
でしょう。今回の花形の歌手を派手に迎えます。

■歌劇「椿姫」より「ああ、そはかの人～花から花へ」

オペラ歌手をゲストに呼んだので、オペラのアリアを
1曲ずつ歌っていただきます。

ソプラノの廣橋さんは、毎年8月に私がプロデュース
している、「夕やけだんだん音楽祭」でいつも一緒に演
奏している歌手で、その素晴らしい歌声を是非とも同窓
生に聴いて欲しい、との思いで既に他の仕事が入ってい
たのを断って参加していただいています。私が心から惚
れ込んでいるソプラノを、是非とも堪能してください。

■歌劇「愛の妙薬」より「人知れぬ涙」

テナーの新堂さんとは、今回初めて共演します。実は、
先日のリハーサルでその美しい声を体験し、魅せられて
しまいましたが、声だけでなくルックスには私のみなら
ずメランジェのメンバー全員が圧倒されて、正直「この
やろ～」というレベルです。男子校である春高の同窓生
には、ある意味「敵」かもしれません。

でも、本人に聞いてみると「そんなにもてませんよ
～」だそうです・・・「嘘つけ（笑）」ってな感じですな。

■流れやまめ川のように

この曲は、私が作詩&作曲をしました。

この曲を書きはじめたのは、まだ時代が昭和のころ、
私が藝大の学生時代になります。その後発表する機会が
ありませんでしたが、一昨年、急遽演奏の機会が訪れ、
今回のソプラノの廣橋さん等により初演されました。

詩はその時に全て書き直しました。日常の忙しさや現
実に疲れ、夢を忘れてしまい、ただ流されるだけの生活
の時期があったとしても、あるきっかけでまた夢を取り
戻す（取り戻したい）という願望を詩にしました。

きらめき揺れる川面のように
静かに時は流れゆく
あの街の遠い記憶、心騒がせ
沫のように、消える
過ぎし日の夢、残骸（かけら）
あの頃の揺れる想い残して
もう戻らない、この手を伸ばしても
戻らない……。
時は流れ、夢を忘れ
心亡くした日々疲れても
いつの日にか、また夢を見る
流れ止まぬ川のように
いつまでも

■テ・デウム（神なる汝を我らは讃えん）より「前奏曲」

ここからしばらくは、器楽（歌なし）のアンサンブルをお楽しみください。

今回のメランジェ合奏団は、私の藝大時代の同級生、そして後輩のなかでも「気の合った」仲間組んだ合奏団ですが、この曲のソロを演奏する小林氏は、メンバー中唯一の同級生です。皆がよく知っているトランペットよりも一回り小さい楽器で演奏いたしますので、是非とも楽器に注目あれ！！

■アメージング・グレース

東日本大震災の後、復興祈念コンサートが日本全国で開催されています。この曲は、そんな祈念コンサートの一つとして編曲し富山で初演された作品ですが、その後色々な編成に再編曲され、日本中で再演されています。

ソリストの只友さんは、メランジェ合奏団の紅一点。細い体からは想像できない力強い音が魅力です。

冒頭のソロの部分では、いつものトランペットよりも一回り大きい「フリューゲルホルン（とても柔らかい音です）」で演奏いたしますので、お楽しみ下さい。

■チャルダッシュ

この曲は、通常ヴァイオリンで演奏される曲ですが、今回は、トロンボーンがソロを担当します。ソロを担当するのは、とにかく楽しいことが大好きな今込氏。

トロンボーンという楽器は、早いパッセージが苦手な楽器ですが、どこまで楽しい演奏が出来るのでしょうか？

■トランペット吹きの子守歌

さて、本日のメインゲストの杉木先生の登場です。

杉木先生は、言うまでも無く世界的なトランペット奏

者として有名ですが、私が藝大に入学する1年前に藝大の先生として赴任され、以来25年以上の間、公私ともにお世話になっています。

3年前に杉木先生が藝大を退任する記念演奏会が藝大の奏楽堂で開催されたのですが、その演奏会の編曲を私が担当させて頂くこととなり、春燦々会のメンバーの数名も、その演奏会を聴きに来たという縁があります。その時の一人、春燦々会の岩本会長から、「杉木先生に演奏会に出演して欲しい」という強い要望があり、お願いしたところ、出演が実現しました。お忙しいスケジュールを空けて頂き、杉木先生には心から感謝しております。

それでは、天からの声のような杉木先生のトランペットの美しい音色を、是非ともご堪能下さい。

■SERENATA II

私の作品のなかで、一番演奏されている作品です。元々はいつも作曲している「現代音楽」で頭が疲れたときに、自分へのご褒美としてピアノソロ曲として書きました。その後、杉木先生をはじめ、色々な演奏家が日本国内のみならず世界中で取り上げてくださり、感謝しています。ちなみに、アメリカではCDにもなりました。

本日は、杉木先生と小林氏、そして私の3人で演奏いたします。また、後半の同窓生の演奏では、春燦々会メンバーの坂田氏もこの曲を演奏してくれます。

■チャイコフスキー・ピアノ協奏曲より

一昨年の上尾市民音楽祭で、罰ゲームとして編曲・演奏したものです。通常は演奏に40分はかかってしまいましたが、今回はそれを7分に圧縮してお届け致します。

■祭りだ！暑い！！熱いぜ！！

毎年夏に行われる「夕やけだんだん音楽祭」のために5年前に書いた曲です。メランジェ合奏団のオリジナル作品としても毎回演奏会に取り上げていますが、この元気な曲で、メランジェ合奏団の演奏を締めたいと思います。（アンコールが聴きたい方は、いっぱい拍手を♪）

■春燦々会の歌

今回の演奏会は、校歌や社歌等に匹敵する会歌「春燦々会の歌」を作ろうということでスタートしました。歌詞は会員に公募しましたが、集まった応募作を吟味した結果、岩本会長の原案に中原幹事長が韻を揃えた形の詩で決定し、私・立原が曲をつけました。

裏表紙に楽譜がありますので、よろしければ一緒にご唱和ください。

プロフィール

杉木 峯夫 (トランペット：東京藝術大学名誉教授)



1945年富山市生まれ。東京藝術大学音楽学部器楽科でトランペットを中山富士雄に学び、卒業後の1970年仏政府給費生としてパリ国立高等音楽院に入学。モーリス・アンドレのクラスに入り、72年一等賞を得て卒業。リヨン国立管弦

楽団首席奏者を経て75年札幌交響楽団に入団。札幌プラス・アンサンプルとしても活動の傍ら、北海道教育大学札幌分校非常勤講師を務め、86年東京藝術大学音楽学部助教授となり2002年教授、09年から同大演奏芸術センター長を兼任。2012年3月に退任し、4月1日より名誉教授。

学生時代から在日オーケストラと共演し、フランスではベルナル・トマ室内管弦楽団、パリ・コンセル・コロヌ管弦楽団などで演奏。「モーリス・アンドレと弟子達」によるレコーディング(エラート)にも参加した。東京藝大着任後も、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、紀尾井シンフォニエッタ東京などで演奏する一方、国内はもとよりパリや北京でもリサイタルを行う。モーリス・アンドレ国際トランペット・コンクールなどのコンクールの審査員を務める。1987年「とやま賞」受賞。モーリス・アンドレが仏楽器メーカーと開発したピッコロ・トランペットを日本で初めて導入した。

現在、東京藝術大学名誉教授、平成音楽大学客員教授、紀尾井シンフォニエッタ東京アドバイザー、PMF評議員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本トランペット協会理事、札幌トランペット協会名誉顧問、くらしき作陽大学非常勤講師、コンセルヴァトワール尚美ディプロマ非常勤講師、オホーツク紋別セミナーディレクター講師、東京藝術大学芸術する脳を考える会代表など。

廣橋 英枝 (ソプラノ)



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。第61回全日本学生音楽コンクール東京大会声楽部門高校の部奨励賞。同全国大会第2位。2012年よりフリーランサーとして活動する。

これまで、フォーレ《レクイエム》、ヴィヴァルディ《グロリア》などに参加。またオペラでは、モーツァルト《フィガロの結婚》スザンナ役、ドニゼッティ《愛の妙薬》アディーナ役、ヴェルディ《椿姫》アンニーナ役、ロッシーニ《セビリアの理髪師》ロジーナ役を好演。クラシック歌手としての活動に留まらず、様々なジャンルの作曲家から新曲の演奏依頼も多く引き受ける。2015年春公開の映画『Happy Wedding』では主題歌を担当。これまでに声楽を小沢美和、中村浩子、佐々木典子の各氏に師事。

新堂 由暁 (テノール)



大阪府豊中市出身。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科卒業。

京都市立芸術大学声楽専攻に1年間在籍後、東京藝術大学音楽学部声楽科テノール専攻を卒業。

ヘンデル《メサイア》等のテノールソロの他、モーツァルト《コシ・ファン・トゥッテ》フェランド、レハール《メリー・ウィドウ》カミーユの他、ガラ

コンサート、オペラ作品に特化した演奏会に多く出演する。クラシック音楽以外では、帝国劇場初の試みである『Les Misérables × 帝劇、のどまん・思い出まん大会』にスロイ歌劇団のマリウス役として出場し、1823組の中から優勝。その他、映画やCM、ボーカロイド素材など多岐にわたる録音にも参加している。

「Tenore 新堂由暁のブログ」

(<http://ameblo.jp/yoshiakitenore/>)

次回出演:8/23(日)、第12回アンサンプルの楽しみ

(東京文化会館・小ホール)

メランジェ合奏団

東京藝術大学で学んだ世代の違う気心の知れた仲間を中心に2014年に結成された金管五重奏(トランペット2、ホルン、トロンボーン、チューバ)+ピアノと言う新しい形態のアンサンプル。

Melange「メランジェ」とは、フランス語で「まぜる」という意味です。

「まぜる」→「組み合わせる」ことは、多種多様の新しい可能性を作り出して行きます。人とのつながり、技術、素材などなど、色々な縁を繋げていきたいと思う気持ちから名付けました。

小林 好夫 (トランペット：メランジェ合奏団メンバー)



東京藝術大学卒業。及び、同大学院修士課程修了。

これまでにトランペットを目良 義延、故 中山 富士雄、杉木 峯夫、室内楽を稲川 榮一、板倉 駿夫の各氏に師事。

藝大在学中、フランス国立ジャン・フィリップ・ラモー音楽院(ディジョン市・コンセルヴァトワール)に留学しThierry Caens氏に師事。

東京文化会館新進音楽家デビューコンサート出演。

第13回日本管打楽器コンクール第3位入賞。

ロニー金管五重奏団メンバーとしてNHK名曲リサイタル出演。

東京藝術大学音楽学部管弦楽研究部、長野県小諸高等学校音楽科の講師を歴任。

現在、タッド・ウインドシンフォニー、ensemble NOVA、フィルハーモニア東京、メランジェ合奏団 各メンバー。

オーケストラ、室内楽を中心に演奏活動を行うほか、後進の指導にもあたっている。

只友 佑季 (トランペット：メランジェ合奏団メンバー)



岡山県津山市出身。明誠学院高等学校を経て東京藝術大学卒業。

小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン・フェスティバル松本(現 セイジ・オザワ松本フェスティバル)、別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなど主要

音楽祭に出演。

オーケストラや室内楽、学校公演などで音楽活動を行うほか、後進の指導にもあたっている。

Travel Brass Quintet、メランジェ合奏団各メンバー。

これまでにトランペットを杉木峯夫、デイヴィッド・ヘルツォーク、井川明彦の各氏に、室内楽を杉木峯夫、稲川榮一、神谷敏の各氏に師事。

安田 健太 (ホルン：メランジェ合奏団メンバー)



富山県射水市出身。6歳よりピアノ、13歳よりホルンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学器楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。

2010年～2013年日本体育大学助教(芸術研究室)。プラスバンド

部監督や授業担当を務めた。2013年より東京藝術大学管打楽器研究室教育研究助手を務めながら、オーケストラ、室内楽、吹奏楽等での演奏・教育研究活動を行っている。2013年より日本体育大学非常勤講師。

またソロプロジェクトとして、自身がギター、ピアノ、ドラムなどで伴奏を行い、映像と共にホルンを演奏する「アンサンブルひとり」としての活動も行っている。

これまでにホルンを故 伊藤泰世、守山光三、山本真、水野信行の各氏に師事。第二回ジュニア管打楽器コンクールホルン部門金賞。第22回ヤマハ新人演奏会、別府アルゲリッチ音楽祭、小澤征爾音楽塾Ⅶ等に出演。第3ホルンアンサンブル、Brass Collection 各メンバー。Brass Ensemble B.E.S.T. プロデューサー

今込 治 (トロンボーン：メランジェ合奏団メンバー)



2000年 東京藝術大学入学、2004年同大学卒業

2005年 第1回ジバングトロンボーンカルテットコンクール優勝

2008年 チャンチキトルネード・インドネシアツアー、ライブツィヒ室内オーケストラ・インドツアー

に参加

2009年 ロストック演劇音楽大学入学、2011年同大学卒業
現在トロンボーンカルテット・クラール、大友良英スペシャルビッグバンド、メンバー

喜名 雅 (チューバ：メランジェ合奏団メンバー)



1980年12月22日沖縄出身。山羊座A型。

1993年沖縄県与那原町立与那原東小学校卒業。

1996年沖縄県与那原町立与那原中学校卒業。

1999年沖縄県立知念高等学校卒業。

2005年東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。

10歳の時に小学校の吹奏楽部でトランペットを始める。翌年チューバに転向。中学生の頃フィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルを知り、ジョン・フレッチャーに憧れてプロ奏者を目指す。

2004年5月ドイツ・マルクノイキルヒェン国際コンクールにてディプロマ受賞。

2004年7月松尾葉子指揮、芸大フィルハーモニーとボザ作曲チューバとオーケストラの為のコンチェルティーノを共演。

日本管打楽器コンクールにて、2004年(第21回)、2007年(第24回)第5位受賞。2010年(第27回)第2位受賞。

2007年、第12回コンセル・マロニエ21(栃木県)第3位受賞。

2005年、読売新聞社主催 第75回読売新人演奏会に出演。

2013年度、音楽之友社刊『バンドジャーナル』ワンポイントレッスンを1年間執筆担当。

これまでにチューバを、上江洲安彦、稲川榮一の両氏に師事。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科非常勤講師(2010-11,13-)、洗足学園音楽大学非常勤講師(2012-)

立原 勇 (作曲・編曲・ピアノ：メランジェ合奏団メンバー)



東京都足立区生まれ。春日部高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部作曲科入学。同大学卒業後、ヨーロッパ・中東および東南アジアを半年間をかけて歴訪。エルサレム滞在中の筆による<"Sinfonia"-for orchestra>が第19回現代日本オー

ケストラ演奏会に取り上げられ、小松一彦指揮・東京フィルハーモニー交響楽団により初演、日本交響楽振興財団第17回作曲賞第1位受賞。同作品はサントリー音楽財団主催の芥川作曲賞にノミネートされ、小松一彦指揮・新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏でサントリーホールにて再演されたのははじめ、現在に至るまで世界各地で再演されている。

国際コンクールでは、フィンランドで行われたシベリウス国際作曲コンクールファイナリスト、スイスのFribourgで行われたFIMS国際コンクールにおいて審査員特別賞、イスラエルのエルサレムで行われたレナードバーンスタイン・エルサレム国際作曲コンクールにおいてセミファイナリスト。

作曲を浦田健次郎、山田 泉、松村禎三の各氏に師事。作曲家・武満徹の最晩年のアシスタントを2年間勤める。タヤけだんだん音楽祭プロデューサー、江戸伝統芸能まつり総合プロデューサーとしても活躍。2004年～2006年まで東京藝術大学非常勤講師。現在は人間総合科学大学に勤務しながら、作曲・演奏活動を行っている。

岡崎 太郎 (ヴァイオリン)

足立区立新田中学三年(春燦々会メンバー岡崎秀美氏のご子息)

子安 出穂 (ヴァイオリン)

中央区立晴海中学校三年(岡崎 太郎氏のご友人)

坂田 勝巳 (トランペット)

春燦々会メンバー (旧3年8組)

ジャズ・トランペッター、剣士 兼 医師

春日部高等学校音楽部 (男声合唱)

音楽部は1994年、当時休部状態にあった合唱同好会を復活させる形でスタートした。

一時は存在さえ危ぶまれたが、熱心な部員達に支えられて地道に活動を続けている。

現在は、年に一度のヴォーカルアンサンブルコンテストでの上位入賞を目指して、毎日練習に励んでいる。

現在の部員数は26名

顧問は高橋香、島田俊一、中川未来、今野博人各先生

春日部高等学校メディア技術研究部

センテニアルホールで開催される各種イベントのお手伝いを通じて、地域との交流を図っていかうという、ボランティア型イベント研究会である。平成13年9月、全国に先駆けてメディア研究会が発足。この部活に期待されたものは全国大会に行くことでもなく、コンクールで最優秀賞を取ることでもなかった。この部に託されたのは、地域の人々に愛される音楽ホールを育てるための、未来型ボランティアである。

サントリーホールと同レベルといわれている音楽ホールの音響・照明の操作、大道具や受付の手伝い、各種清掃活動などを主な役割とする。ホールを使用する団体のイベントのお手伝いをして交流を図り、音楽コンサートや演劇等のマネジメントも学ぶ。文化祭では、創立以来、メディアの役割や地域文化の考察を図り、研究発表をしている。また、28年間続く学校開放講座のサポートにも参加。

現在の部員数は10名。顧問は安藤尚弘、江森知行両先生

スタッフ

2015 年 春燦々会同窓会スタッフリスト

- ・企画&構成：岩本、中原
- ・渉外：岩本、大竹、関田、中原、成田
- ・広報：立原
- ・会計監査：岩佐、小川

■コンサート

- ・総監督：立原
- ・司会：関田
- ・影アナ：中原 明美
- ・校歌・エール：岩本
- ・ステージマネージャー：岡田、小川、土井、中村
- ・来賓対応：岩本、大竹、中原、成田

- ・受付&会場：大野、岡崎、落合
- ・会計：岩佐、小川
- ・ビデオ撮影：大竹、岡崎、岡田
- ・音源収録：立原、中原
- ・写真：石田、大竹

■懇親会

- ・責任者：石田、中原
- ・誘導：関田、土井、中村、増田、町田
- ・司会：岡田
- ・来賓対応：岩本、大竹、関田、中原、成田
- ・受付：大野、岡崎、落合
- ・会計：岩佐、小川

協 賛（個人）

※ 7 月 10 日現在
※ 五十音順、敬称略

安達 祐隆
石田 博
岩佐 靖史
岩本 敏英
卯田 昭夫
内田 一郎
大島 賢治
大竹 敦
大野 現
岡崎 秀美
岡田 一彦
岡村 成高

小川 竹虎
尾崎 毅
落谷 靖
米島 丈晴
坂田 勝己
関田 晃
高岡 豊
立原 勇
田中 達也
土屋 信彦
土井 直人
中原 淳一

成田 元彦
波田野 哲雄
廣田 匡紀
古木 譲
増田 孝
皆川 充
武藤 勝
柳沢 貞夫
山口 喜移
湯本 修
吉岡 修
ほか

春燦々会幹事およびコンサート実行委員

■春燦々会幹事会

会 長：岩本敏英
幹事長：中原淳一
事務局：岡崎秀美

幹 事：石田博 岩佐靖史 大竹敦 大野現 岡田一彦、小川竹虎 関田晃 立原勇 土井直人 古木譲

■コンサート実行委員会

落合靖 中村優夫 成田元彦 増田孝 町田直典 ほか

祝!

春燦々会サマーコンサート

相続税・法人税・所得税

税理士 岩佐靖史

048-976-8956

祝! 春燦々会サマーコンサート



いわもと歯科医院
IWAMOTO Dental Office

院長 岩本 敏英
歯学博士

歯学博士 卯田 昭夫
(歯科麻酔専門医)

〒343-0807 越谷市赤山町 2-136-1

T E L : 048-962-6480 FAX : 048-966-8282

E-Mail : iwamoto-dental@tbn.t-com.ne.jp

U R L : http://www.iwamoto-dental.jp/

治療から 予防へ
cure ▶ care



祝! 春燦々会サマーコンサート

株式会社インター・アート・コミッティーズ 代表取締役社長
一般社団法人青少年自助自立支援機構 代表理事

皆川 充

<http://interart.co.jp/>
<http://compass-navi.or.jp>

〒330-0062
埼玉県さいたま市浦和区仲町 1-12-1 カタヤマビル

TEL : 048-815-6110
FAX : 048-815-6111

COMPASS navi
コンパスナビ



春燦々会
サマーコンサート

弁護士 内田 一郎

〒340-0034

埼玉県草加市氷川町
2149番地4
エビデンス 502号

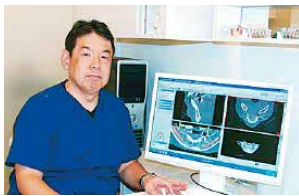
電話 : 048-927-3930
FAX : 048-927-3937

さいたま草加法律事務所

祝！春燦々会サマーコンサート！！！！

大竹歯科クリニック 歯周病・インプラントCTセンター

平成9年9月開業以来、やり直しのない良質な歯科医療を目指し、患者様と共に歩んでまいりました。2000年より、いち早くインプラント・歯周病再生療法に取り組み時代をリードして来ましたが、移転に際し、21世紀の歯科治療に要求されるであろう最先端医療機器を導入し、今まで以上にハイクオリティな歯科治療を実践することで、患者様のかけがえのない大切な歯を守り残せる歯科医療で時代をリードしていきます。



〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区
桜木町2-297 桜ビル1F

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~13:00	○	○	○	○	○	○	△
14:30~19:00	○	○	○	○	○	△	△

☎048-644-9922

<http://www.otake-shika.com/>

春燦々会とメンバーの皆様の
益々の御発展を祈ります

- ・東京都港区赤坂 7-5-7 赤坂光陽ビル 5階
- ・電話 03-3585-7451
- ・事務所 HP <http://yamada-ozaki.com/>



<http://yamada-ozaki.com/>

祝！春燦々会サマーコンサート

介護付有料老人ホーム

ローズヴィラ
岩槻バンビ保育園併設

☎0120-799-023

TEL:048-799-1151 FAX:048-799-0080

〒339-0012 埼玉県さいたま市岩槻区増長112

岩槻バンビ保育園

即、入園可・長時間保育

☎0120-799-023

TEL:048-799-1150 FAX:048-799-0080

〒339-0012 埼玉県さいたま市岩槻区増長112



やまぐち内科クリニック

祝！春燦々会サマーコンサート



内科・神経内科・CT検査

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	休
午後 15:00~18:30	●	●	●	休	●	休	診

東越谷9-130-1 ☎048-992-7300 P 23台有り
<http://yamaguchi-neuro.com/>

埼玉県立春日部高等学校校歌

作詞：折原 僖一郎 作曲：音楽学校

細き流れを集めきて

木を裂き岩をうがちつつ

大河滔々なみを揚ぐ

これ大利根の壮観ぞ

あしたに花の露をうけ

夕べに富士の影ひたし

八千草におふ武蔵野を

二つに断ちて流るなり

時世をつくる英雄の

姿はこれに似たらずや

忍耐剛毅わがつるぎ

誠実質素われがたて

埼玉県立春日部高等学校

春燦々会の歌

春燦々会 作詞
立原 勇 作曲



春燦々会の歌

作詞 春燦々会
作曲 立原 勇

春の風に誘われ 集いし我等八木崎へ
切磋琢磨の年月を 称え睦みし男等と
共に歌わんあの歌を
共に歌わん ああ春高 春燦々会

大河大波乗り超え 忍耐剛毅胸に秘め
誠実質素我が道を 迷わず進めや男意気
胸に浮かぶはあの歌よ
胸に浮かぶは ああ春高 春燦々会

秋霜烈日乗り越え 実りし我等男伊達
重ねし友誼笑顔に堪え 共に語らん人生を
夢に忘れぬあの歌を
夢に忘れぬ ああ春高 春燦々会

我が心の故郷 校舎漢の城ぞ
瞳閉じれば今もなお 浮かぶは我が師我が朋友よ
永遠に称えんあの歌を
永遠に称えん ああ春高 春燦々会